

2022年度公益財団法人小岩井農場財団第4期事業計画書

公益財団法人小岩井農場財団 2022年度事業計画

事業期間：2022年4月1日から2023年3月31日

本財団は、「重要文化財小岩井農場施設の建造物を保有し、それらを保存・修復・管理すると共に、それら建造物の研究及び公開・普及を図り、学術・文化の振興に寄与する事」を事業目的としている。

本財団事業開始から4期目となる2022年度として、上述の事業目的の一層の推進並びに充実を図るべく、下記の通りの諸事業を計画する。

記

1. 文化財の公開と普及活動

本財団が保有する農業近代化遺構である重要文化財21棟を広く一般に公開し、わが国の農業近代化に於ける牧畜業の発展の歴史の啓蒙を中心に普及活動を行なう。

- (1) 公開・普及活動の実施にあたり、その公開体制・公開範囲・公開方法等を検討の上策定し、公開を実施する。
- (2) 公開・普及活動の充実の為に必要な、説明パネル等の制作、文化財解説の小冊子の制作及び広報素材の整備等の活動を推進する。
- (3) これら重要文化財群について、わが国の農業近代化に於ける文化・技術・歴史的な価値並びに意義を広く一般の方々に普及させるべく企画する。

2. 文化財の保存・補修計画の策定と実施

重要文化財21棟の保存・修復については老朽化が加速しており、「小岩井農場重要文化財建造物耐震診断及び補修全体計画表」に基づき、本年度の耐震診断事業及び耐震補強計画を中心に具体的補修計画を策定し実施する。

2022年度の耐震診断及び同診断結果に基づく耐震補強計画の各事業の対象物件として、次のものを予定している。

尚、2021年度は文化庁及び有識者の指導の下、第一号牛舎、第二号牛舎、第四号牛舎、種牡牛舎の4棟の耐震診断及び倶楽部、四階建倉庫、冷蔵庫の耐震補強計画の策定を実施した。

- (1) 2022年度耐震診断事業実施予定建造物

- 第三号牛舎
- 第一号サイロ

- 第二号サイロ
- 育牛部倉庫
- 第一号牛舎、第二号牛舎、第四号牛舎の付属サイロ

(2) 2022年度耐震補強計画事業実施予定建造物

- 第一号牛舎及び付属サイロ
- 第二号牛舎及び付属サイロ
- 第四号牛舎及び付属サイロ
- 種牡牛舎

3. 文化財の保存補修及び管理並びに公開普及の為の資金

重要文化財21棟の保存・補修・管理・公開・普及の為の資金、並びに財団運営に必要な資金として、三菱グループ企業を中心に約30社より、2022年度に於いても約70百万円の寄附金を受贈頂く。

4. 文化庁よりの文化財補助金

上記3項にある、三菱グループ企業等からの2022年度の寄附金受贈と並行して、重要文化財建造物の耐震診断及び耐震補強計画並びに先端技術活用調査等に対し、文化庁より補助事業としての支援を頂く。

5. 文化財の研究の推進

重要文化財21棟の研究活動については、大学教授等の有識者の指導、助言の種々協力を仰ぎ学術研究の成果を蓄積していくと共に、農業近代化の重要文化財群を擁する北海道大学との学術連携協定及び農業近代化遺産企画展の開催を推進する。

6. 展示館の整備

本財団が保有する「重要文化財小岩井農場施設」の理解を促進する目的で、小岩井農牧株式会社まきば園内に「小岩井農場重要文化財ギャラリー」を2021年4月に開設した。

重要文化財の概要紹介パネル展示や高精細模型と共に VR 映像等、小中学校の校外学習等でも分かり易い展示内容としており、公開、普及の中核施設として一層の整備を推進する。

以 上

※2022年度公益財団法人小岩井農場財団第4期事業計画詳細

1. 主な事業活動等予定

年月日	事業内容	摘要
2022年4月1日	小岩井農場財団第4期事業開始	
2022年4月1日	令和4年度耐震診断事業交付決定通知	第一号牛舎他11棟3カ年事業
2022年4月中	小岩井農場施設保存活用計画認定申請	6月審議会に向けて
2022年4月中	令和4年度先端技術活用調査事業交付申請	玉蜀黍小屋4棟の調査
2022年4月中旬	寄附金御依頼	三菱各社
2022年4月下旬	耐震診断事業契約及び着手	入札公告
2022年5月	2021年度決算について監査	
2022年5月中旬	第1回通常理事会開催	事業報告及び決算・評議員会開催
2022年6月上旬	定時評議員会	事業報告及び決算
2022年6月末迄	内閣府事業報告等書類提出	
2022年6月	文化庁先端技術活用調査事業交付決定通知	
2022年6月	先端技術活用調査事業契約及び着手	入札公告
2022年8月中旬	耐震診断事業有識者会議	
2022年10月中旬	第1回臨時理事会	代表理事業務報告
2023年1月末	令和5年度文化庁補助事業交付申請	耐震診断事業他
2023年2月中旬	耐震診断事業有識者会議	
2023年2月下旬	第2回通常理事会	令和5年度事業計画及び予算案
2023年3月末迄	内閣府事業計画等書類提出	内閣府
2023年3月末	令和4年度補助事業実績報告提出	文化庁

2. 具体的事業内容

1) 調査研究・保全事業

①文化財の管理、修理等

②令和4年度耐震診断事業実施(文化庁補助事業)

耐震診断事業(第一号牛舎、第二号牛舎、第四号牛舎、種牡牛舎の耐震補強計画及び第三号牛舎、第一号サイロ、第二号サイロ、育牛部倉庫の耐震診断調査)総事業費64,201,800円(補助金交付額54,570,000円)

③令和4年度先端技術活用調査事業

文化庁からの要請によるレーザースキャナによる点群データ集積等の先端技術を活用した建造物調査事業(玉蜀黍小屋4棟)総事業費見込22,843,620円(補助金交付見込19,416,000円)

2) 公開普及事業

①展示館事業

- ・重要文化財ギャラリーに係る成果調査（訪日外国人への魅力発信についてのアンケート等）及び検証

- ・耐震診断及び先端技術活用調査経過等の展示企画

- ・多言語解説アプリの利用促進

②文化財企画展及びセミナー

北海道大学との連携の一環による農業近代化遺産研究報告企画巡回展を北海道大学総合博物館及び小岩井農場重要文化財ギャラリーで秋頃に開催予定

保存活用検討委員の有識者によるセミナーを小岩井農場にて開催(1回)予定

③上丸地区の見学利用促進及び運營業務委託状況の検証

以上